

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市八ヶ岳山荘	公募	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社レストラン・ピガール	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	立川市の条例及び公募時の計画書に従って管理と営業に努めた。また、一般の宿泊施設とは違う、立川市の山荘の存在意義を十分に理解して、管理運営にあたった。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月に1回以上、本社の役員や現地の責任者が指導したり、ミーティングを開き、きめ細かく職員を指導、教育を行った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等に基づき、公平・公正利用を確保した。	A		
事業の継続性の担保	本社との連絡を密にして本社が山荘内の各職員の業務を細かく把握している。山荘の職員が欠けた場合でもすぐに対応できるようにしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(2)業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:365日 開館時間:24時間 職員配置:正社員9名、嘱託3名 給与単価:嘱託15,000円(日給)	A		
②利用状況	【利用者数】12,539人(前年度12,606人) (内訳) 一般利用者 7,885人(前年度7,644人) 学校利用 3,662人(前年度3,880人) *小学校3,474人、中学校188人 青少年団体 927人(前年度1,078人) 日帰り 65人(前年度4人) 【稼働率】 一般利用客室稼働率 35.7%(前年度35.6%) 学校利用を含む客室稼働率 46.3%(前年度47.4%)	S×1 A×1	中央自動車道トンネル事故によるキャンセルや近年の清里の状況を考慮すると、一般利用者を増加させることが出来たのは、S評価に値する。  地元出身者を社員として雇用している。	
③運営企画	バスツアーの実施(4回)、市立小学校のハイキング同行、フェイスタオルの提供、自炊棟の改善、閑散期の送迎、宣伝、木工教室・クリスマス会等の実施、試食会の実施	A	繁忙期など、山荘配属の社員で足りないときは、本社から応援を出して会社全体で取り組んでいる。	
④事業収支 ⑤経営状況分析指標	収入:73,427,585円、支出:71,377,576円 内訳 指定管理料 53,685,000円 利用料金収入 11,311,350円(施設使用料) その他事業収入:8,431,235(食事・売店等) 人件費比率 57.2% 外部委託費比率10.4% 指定管理料及びその他の収入で適正に事業を行うことができた。	A	基本的事項については、実施計画どおり実施されている。給与単価については、法令等遵守されている。	A
⑥損害保険等加入状況 ⑦不可抗力発生時のリスク分担及び対応	対人対物 支払限度額:1億円 協定書を超え、リスク分担を超えても利用者の安全性の維持に努めた。	A	学校利用におけるハイキングの道案内など、新たなサービスを実施し、好評を得ている。	
⑧第三者への委託状況	施設保守点検・定期清掃、寝具の供給・リネン、ごみ処理	A	一般宿泊者については、フェイスタオルや歯ブラシセットなどを新たに提供した。	
⑨新たな取り組みの状況	自然教室のハイキング時での道案内、タオル・歯磨き・バスタオルの提供、自炊棟への新しい鍋の購入	A	提案事項も着実に実施している。	
⑩提案の実施状況	自然教室のハイキング時での道案内、タオル・歯磨き・バスタオルの提供、自炊棟への新しい鍋の購入、閑散期割引、バスツアー、送迎、各種イベント、夕食をバーベキューに変更、緊急時の対応、宿泊棟の整備	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	接客は重点項目として取り組み、97%以上の利用者から良い評価があった。	A	各種マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。施設の性格上、接客には特に力をいれている。  利用者アンケート結果について、食事の満足度が非常に高く、利用者から見た評価は際立っている。  事業計画・報告書の公表も行っている。	A
マニュアルの整備	調理、衛生管理、接客、清掃マニュアルに基づき対応した	A		
研修・教育の実施状況	各分野の講習を毎月実施した	A		
所管部署との連携・連絡	消防署等関係機関と連絡をを行った。非常時の連絡も体制が整えられている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケート実施し、市に提出した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを作成し、庁舎等にも置いている。ホームページの空室情報は毎週更新した。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	条例等をよく理解し、公平利用に努めた。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。  小規模修繕についても、適切に行われている。  当初予定した修繕額を超えて、指定管理者の責任で負担した実績あり。	A
②施設及び設備の保守・点検	外部委託の部分を除き、事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
③保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
④小規模修繕	浄化槽調整槽ポンプ交換、給湯循環ポンプ交換、宿泊棟修理、大浴場ガラスブロック補修、消防施設不具合修理	A		
⑤備品管理	備品台帳を作成し管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、指揮監督している。	A	適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	必要な研修を実施した。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	トイレの便座を温便座にしてほしいとの要望があった。その後、温便座に変更された。	A	事故を未然に防ぐ取り組みがなされている。  マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
②事故の予兆に対する対応	日常から職員間でのミーティングをこまめに行い、ヒヤリ・ハツとする前に改善に努めている。			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	小学校が自炊棟で自炊中にすごい雷と雨に見舞われ、本館まで徒歩で移動できなかったので車で本館まで移動した。			
④事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みを行った。災害発生時の連絡体制も確立されている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	従業員は地元雇用をしており、さらに食材は地産地消に努めている。地域との関係も良好で会合には必ず参加している。	A	地域との関係は良好である。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
<b>(9)その他特記事項・追加評価項目</b>				
特になし				
<b>(10)立川市のコスト削減状況</b>				
導入前の決算額との比較	9,417,162円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>近年の清里について、駅前の商店街もシャッター街と化し、2,3件の土産物屋が開いている程度で、観光客はまばらである。それに加え、平成24年12月に中央自動車道笹子トンネル崩落事故があり、西への交通が滞った。そんな状況の中において、アメニティグッズを新たな取組として用意したり、清里駅までの送迎、バスツアーの実施、地道な宣伝活動などを行うことで、指定管理導入後4年間に渡り、一般利用者を増加させていることは、大いに評価するに値する。</p> <p>また、指定管理選定時に指定管理料の見直しを行い、収入を増やすとともに支出を削減し、効率的な運営を行った。</p> <p>加えて、利用者アンケートにおいて、「非常に良い」「良い」の回答が、食事・施設(快適を除く)・サービスいずれも97%以上となっており、かつ「悪い」という回答が0であることから、利用者の満足度が大変高く、きめ細かなサービスが提供されていることが分かる。研修やミーティングなどを通し、社員教育がなされ、一人ひとりが意識を高く持って、接客にあたっている。</p> <p>経年劣化が見られる施設の維持管理には大変頭を悩ませているところであるが、日々の点検を適切に行い、不具合が発見された場合は、速やかに修繕対応をしている。また、所管課への連絡も迅速であり、安全面や美的視点に立ち、優先順位をつけて、限られた予算の中で、維持管理を適切に努めている。</p> <p>今後、繁忙期はすでに満室となる日が多いため、それ以外の期間に、特に閑散期の利用をどのようにして増やしていくのか、地道な宣伝活動に加え、さらなる工夫が課題である。</p>		A	<p>トンネル事故によるキャンセルや清里地区の観光客の減少を考慮すると、一般利用者を増やせたことは、評価に値するものである。</p> <p>新たな取り組みもいくつか展開し、本社の全面的な支援の中、運営も良好に行われている。</p> <p>利用者アンケートにおいては、食事の評価が「非常に良い」が全体の9割以上を占めるなど質の高いサービスが提供されている。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市滝ノ上会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市滝ノ上会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:311日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 時給928円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。  給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。  多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:17,534名(前年度19,364名) 利用件数:1,157件(前年度1,249件) 平均施設使用率:38.1%(前年度41.0%)	A		
③運営企画	S評価・・・会館まつり、ふれあいコンサート A評価・・・広報発行、利用者懇談会、新年懇談会	S×2 A×3		
④事業収支	収入:2,905,203円、支出:2,905,203円 * 指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】 適正に執行されている。	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特になし	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を5回、役員会を9回開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	印刷機修繕 外壁修繕 サッシ修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	—	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>滝ノ上会館は、地域の住民にとって学習、また趣味や娯楽といった活動の拠点となっており、開館以来、利用者の方々や地域の諸団体と一体となりながら、富士見町の文化を盛り上げてきた。また、会館の活動方針でも「子どもの居場所づくり」を挙げているように、とりわけ地域の子どもに開かれた会館であることを心がけており、会館の事業では子どもが参加しやすい企画を多く実施している。</p> <p>その成果もあってか、会館の事業には子供をはじめ幅広い年代の参加者が集える場として、地域にすっかり定着している。例えば会館まつりでは「滝ノ上音楽会」と題して、地元小中学生による演奏会が催されるほか、ジュニアリーダー等による「子どもの遊び場」企画なども行われている。また、立川市地域文化振興財団との共催で行う「富士見町ふれあいコンサート」では、プロのソプラノ・バリトン歌手のステージを楽しめるだけでなく、地域の中学校吹奏楽部OB有志で結成されたバンドによる演奏会も催されるとあって、子どもから大人まで、大勢の地域住民が来館し賑わう。こうした地域に密着した事業を軸に、会館が世代間を超えた地域住民の交流の場としての役割を果たしている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こんびら橋会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こんびら橋会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:248日 営業時間:9:00～22:00 (*空調機改修工事のため1月～3月まで休館) 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 時給964円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。  給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。  多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:17,924名(前年度24,013名) 利用件数:1,302件(前年度1,736件) 平均施設利用率:48.8%(前年度49.3%)	A		
③運営企画	S評価・・・会館まつり A評価・・・広報発行、地域懇談会、講演会、新年賀詞交換会	S×1 A×4		
④事業収支	収入:2,796,490円、支出:2,796,490円 *指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】 適正に執行されている。	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特になし	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	改修工事のため、未実施(2月の利用者懇談会前に実施のため)	-		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を7回、役員会を3回開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	冷却水ポンプ他修繕、照明球交換修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	-	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハットとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>こんびら橋会館は、砂川地域のコミュニティセンターとして、地域の住民、また各種団体と多面にわたって協力しながら、会館の管理運営を行っている。</p> <p>例えば施設管理の面では、毎年5月連休の休館日を利用して、管理運営委員を中心に、地域のボランティアの力を借りて施設内の整備・清掃を行っている。また、今年度から予算化された指定管理料の修繕費を活用した軽修繕等も積極的に実施し、管理運営委員、地域の利用者とが協力して施設の維持保全に努めている。</p> <p>さらに、コミュニティ事業についても、会館まつりでは利用者団体による芸能発表のほか、子ども向けの無料の模擬店など、地域のお祭りならではの企画を用意し、毎年大勢の来館者で賑わいを見せている。この他にも、地域住民の関心の高い課題(本年は「ごみ有料化・戸別収集について」)を取り上げた講演会や、地元選出市議を迎え地域の課題について意見交換を行う討論会など、地域の要望を汲み取った事業を積極的に展開している。</p> <p>本年度は1月当初より3月末までの3ヶ月間、空調機の改修工事に伴い施設を休館としたが、会館内外での掲示や、地域の諸団体を通しての事前周知を徹底したこともあり、利用者にも特大大きな混乱はなかった。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市高松会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:297日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 時給1,004円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。 給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:14,023名(前年度9,756名) 利用件数:1,061件(前年度761件) *平成23年度は改修工事で約3ヶ月休館 平均施設使用率:37.2%(前年度39.5%)	A		
③運営企画	S評価・・・会館まつり A評価・・・広報発行、AED講習会、利用者懇談会、高松町合同新年会	S×1 A×4		
④事業収支	収入:2,812,378円、支出:2,812,378円 *指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特になし	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて内容を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を11回開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	外流し水栓漏水修繕、流し排水トラップ水漏れ修繕、集会室排煙窓修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	-	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>高松会館は、地域コミュニティの拠点施設として、地域に密着した会館運営や企画づくりを心がけている。そのため地域の諸団体とは様々な面で協力しており、会館まつりなど会館が主催する行事に対して支援を受けているほか、会館としても自治連高松町支部、競輪場周辺対策協議会等、地域の各種団体が実施する行事に協力・協賛している。また、毎月開催している管理運営委員会では、各団体間の情報交換の場としての役割も兼ねており、このように会館が地域の諸団体と連携し、一体となりながら、高松町の地域活動を盛り上げている。</p> <p>また、施設の2階は高松児童館となっており、平成24年度より指定管理者による運営が行われている。高松会館では、他の学供施設には無いこの特徴を生かし、積極的に児童館との連携を図っている。例えば会館広報には毎号、児童館の行事案内等を掲載しているほか、会館まつりでは児童館職員による模擬店、ゲームなどの企画が実施されるなど、児童館との連携により、地域の子どもと、お年寄りを中心とした会館利用者との交流が生まれている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市若葉会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的で開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:330日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時5名 時給861円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。 給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:29,445名(前年度29,326名) 利用件数:1,808件(前年度1,750件) 平均施設使用率:47.4%(前年度44.9%)	A		
③運営企画	S評価・・・広報発行、会館まつり A評価・・・利用者懇談会、健康講座、教養講座、新春のつどい、手打ちうどん教室	S×2 A×5		
④事業収支	収入:2,792,948円、支出:2,792,948円 * 指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特になし	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を毎月開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	印刷機修繕、学習室前誘導灯交換修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	-	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>若葉会館では、会館広報の発行、講座の開催、会館まつりの実施を、会館三大事業と位置づけており、地域の各種団体と協力しながら、管理運営委員会を挙げてこれらの事業に取り組んでいる。</p> <p>会館広報の発行については年3回行っているが、とりわけ毎年7月に発行する各種団体との合同広報では、会館のみならず自治会、文化会、体育会、青少年、子ども会など、地域の各団体の情報を掲載し、手配りで町内全戸配布を行っている。</p> <p>また、講座については、「教養」、「健康」、「グルメ」をテーマに年3回開催しており、いずれも地域住民の好評を博している。</p> <p>さらに、若葉会館では、会館まつりを地域の子どもが主体のイベントとしており、地元の小中学校児童・生徒の作品展示や演奏発表をはじめ、子供向けのおはなし会や工作教室などが開催される。また1階の若葉図書館の協力による古本の頒布や、地域の各種団体による模擬店、地元野菜の販売も人気企画として定着しており、子どもはもちろん、大人も存分に楽しめる、地域交流の場となっている。</p> <p>こうした精力的な取り組みを通して、若葉会館は子供から大人まで、地域の誰もが集える場として、地域コミュニティの要として機能している。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こぶし会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こぶし会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数: 334日 営業時間: 9:00～22:00 管理人配置状況: 月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置: 臨時4名 時給883円(参考値: 月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。 給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数: 39,196名(前年度40,953名) 利用件数: 2,334件(前年度2,358件) 平均施設使用率: 41.1%(前年度42.2%)	A		
③運営企画	S評価・・・会館まつり、こぶしファミリーコンサート A評価・・・広報発行、利用者懇談会、賀詞交換会	S×2 A×3		
④事業収支	収入: 2,792,498円、支出: 2,792,498円 * 指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特になし	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を9回開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	印刷機修繕、高所照明球交換修繕、流し・トイレ修繕、電動移動観覧席バッテリー交換修繕、屋上防水層補修、雨漏り修繕、空調修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	-	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>ぶし会館は、幸町と柏町の二町にまたがる会館であり、それぞれの地域の各種団体から選出された委員により運営されており、この二町の地域活動に様々な形でかかわっている。</p> <p>加えて、学習等供用施設11館の中で施設規模が最も大きく、また立川駅からモノレールもしくはバスでのアクセスが可能で、交通の便が良い施設であることから、市外を含む他地域からの利用や、行政の事業での利用が他館に比べて多いという特徴がある。また、施設1階の一部は、指定管理者が運営する幸図書館となっている。</p> <p>こうした事情により、こぶし会館には毎日多数の方が出入りしている。そのため施設の安全管理には特に気を配っており、利用者や図書館も交えての避難訓練を実施するなどして、安全意識の向上に努めている。また、管理人がこまめに館内の施設・設備の状況を確認し、不具合を発見した際には早急に対応するよう心がけている。</p> <p>一方で、二町にまたがるという規模の大きさを生かして、会館の各種事業も大変盛大に行われている。例えば5月の会館まつりは2日間にわたって開催され、利用者の芸能・作品発表や模擬店等で、毎年大盛況となっている。また、立川市地域文化振興財団との共催で12月に開催する「こぶしファミリーコンサート」も、プロの奏者の演奏が気軽に楽しめるとあって、大勢の来場者で賑わい、地域の住民にとっては、子どもから大人までが集える年末の恒例行事となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣中央会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市羽衣中央会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:342日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 時給934円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。 給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 運営企画の参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:28,183名(前年度26,666名) 利用件数:1,513件(前年度1,483件) 平均施設利用率:39.8%(前年度39.8%)	A		
③運営企画	S評価・・・会館まつり A評価・・・広報発行、利用者懇談会、講演会	S×1 A×3		
④事業収支	収入:2,983,341円、支出:2,983,341円 * 指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特になし	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を毎月開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	1階集会室・3階集会兼保育室ファンコイルユニット交換修繕、エレベーター前ロビー雨漏り及び手すり修繕、防火設備受信機バッテリー交換修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	—	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>羽衣中央会館は、羽衣町の地域活動の拠点として、地域内の各種団体と連携しながら、地域に密着した管理運営を行っている。実施事業については、会館の主要なコミュニティ事業である会館まつりを文化会の文化祭と合同で実施しているように、地域内の各種団体との共催というかたちで事業を行うことが多く、より多くの地域住民に会館を知ってもらい、また参加してもらえるよう取り組んでいる。さらに会館管理運営委員会としても、地域内の各種団体が主催する様々な行事に積極的に協力、参加しており、多方面にわたって地域に密着した活動を行っている。</p> <p>また、鮮やかなフルカラー印刷が目目を引く会館広報を、年3回発行している。広報では、会館の情報のみならず、地域で開催される様々な事業について案内を掲載しており、地域の情報発信源として、会館が各種団体を繋ぐ役割を果たしている。</p> <p>一方、施設管理の面についても、利用者懇談会で寄せられる様々な要望に対し、設備機器の買い換えや軽微な修繕など、会館独自で行える場合には、指定管理料の修繕費を活用するなどして、優先順位をつけながら迅速に対応している。このように、地域のあらゆる活動の拠点である会館を少しでも快適に利用してもらえよう、常に利用者の声に耳を傾けながらの管理運営を心がけている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市天王橋会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市天王橋会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:234日 営業時間:9:00～22:00 (*空調機改修工事のため1月～3月まで休館) 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 時給978円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。  給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。  多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:13,338名(前年度17,190名) 利用件数:767件(前年度954件) 平均施設使用率:36.8%(前年度37.2%)	A		
③運営企画	S評価・・・会館まつり、みんなのコンサート A評価・・・広報発行、防災訓練講習会、利用者懇談会	S×2 A×3		
④事業収支	収入:2,826,977円、支出:2,826,977円 *指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特になし	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を9回開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	給水管修繕、吸収冷温水機修繕、エバラホームポンプ修繕、冷却塔用電磁開閉器交換修繕、1階だれでもトイレ修繕、非常階段扉錆汁他修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	—	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>天王橋会館は、一番町地域のコミュニティ拠点として、多くの地域住民に親しまれている。管理運営委員会の活動にも地域の住民が自主的に参加・協力し、特に施設管理の面においては、個人の特技を活かして軽微な修繕や植木の世話などをボランティアで行っており、会館はこうした善意により支えられている。</p> <p>また、コミュニティ事業についても、地元の小中学校から多くの児童・生徒やPTAが組織的に参加しており、こうした地域のボランティアの協力を受けて運営されている。毎年6月に行われる会館まつりでは、表の駐車場など広い敷地を活かして、地域の諸団体による多数の模擬店が並び、また館内では利用者による作品展示や芸能発表が行われ、世代を超えて多くの来館者で賑わっている。また立川市文化振興財団との共催で11月に行われている「一番町みんなのコンサート」では、地元小・中学校吹奏楽部や和太鼓クラブによる演奏や、プロの奏者との共演も行われ、子どもから大人まで地域の誰もが楽しめるイベントとなっている。このように、様々な場面で地域の住民が集う場として、会館は地域に欠かせない施設となっている。</p> <p>本年度は1月当初より3月末までの3ヶ月間、空調機の改修工事に伴い施設を休館とし、この間に開催を予定していた事業についても中止もしくは延期としたが、会館内外での掲示や、地域の諸団体を通しての事前周知を徹底したこともあり、利用者にも特段大きな混乱は無かった。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市柴崎会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:330日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 時給911円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A×6	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。 給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:29,769名(前年度30,124名) 利用件数:2,112件(前年度2,248件) 平均施設利用率:65.1%(前年度67.5%)	A		
③運営企画	S評価・・・会館まつり、柴崎ふれあいまつり A評価・・・広報発行、利用者懇談会、健康講座、合同賀詞交歓会	S×2 A×4		
④事業収支	収入:2,817,066円、支出:2,817,066円 * 指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況		-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を9回開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	印刷機修繕、自動ドア修繕、給水管漏水修繕、給水設備修繕、自動給水装置点検修繕、放送設備修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	-	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>柴崎会館の管理運営委員会には柴崎町内すべての自治会の代表が参加しており、地域住民の活動の場として、会館は地域になくてはならない施設として認知されている。したがって、地域内の様々な情報は会館に集約され、言わば会館が地域諸団体の事務局として、情報発信・伝達の機能を兼ね備えている。</p> <p>このように地域団体の強い結束に支えられた柴崎会館は、コミュニティ事業の実施においても、会館まつりなど、管理運営委員会を中心に各団体の協力のもと行っている。逆に自治連柴崎町支部が主催する柴崎ふれあいまつりにも管理運営委員会として全面的に協力するなど、他団体の事業に対しても積極的に支援するようにしている。</p> <p>また、柴崎会館では、近隣に柴崎学習館があるという立地状況の中、地域コミュニティの拠点として会館が存在することの重要性を強く訴える意味でも、とりわけ施設利用率の向上に熱心に取り組んでいる。その成果もあってか、柴崎会館の利用率は長らく第1位を維持しており、他の学習等供用施設と比較しても非常に高い数字で推移している。</p> <p>このように地域の全面的な協力のもと、地域に密着した管理運営を行っている柴崎会館は、名実ともに地域にとって不可欠な施設となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市さかえ会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市さかえ会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:333日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 時給904円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。  給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。  多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:30,777名(前年度30,226名) 利用件数:2,175件(前年度2,183件) 平均施設使用率:60.2%(前年度59.6%)	A		
③運営企画	S評価・・・創立20周年記念式典、会館まつり A評価・・・広報発行、利用者懇談会、料理教室、卓球大会、志民講座、合同賀詞交歓会	S×2 A×6		
④事業収支	収入:3,058,006円、支出:3,058,006円 *指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特に無し	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を毎月開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	クーリングタワー修繕、冷温水機遠方盤修繕、エバrahamポンプ修繕、屋根補修修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	—	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>さかえ会館は、栄町のほぼ中心に位置し、また近隣に学習館等のサークル活動ができる施設がないこともあり、栄町における各種活動の拠点として、多くの地域住民に利用されている。定例的に会館を利用している団体もおおよそ60団体を数え、会館の利用率、利用者数、利用件数のいずれも、学供施設全11館の中で上位に位置している。会館としても更なる利用率、利用者数の向上に努めている一方で、特に毎月の受付初日などは利用の重複などで混乱をきたすことが無いよう、管理人の指導を徹底しており、公平・公正な受付業務を心がけている。</p> <p>また、実施事業が多いこともさかえ会館の特徴であり、毎年6月の会館まつりを皮切りに、料理教室、講演会、卓球大会など、多種多様な事業を企画し、いずれも好評を博している。とりわけ会館まつりでは、地元の小学校金管バンドの演奏やフリーマーケットなどが開催され、地域の誰もが楽しめるお祭りとして大変なにぎわいを見せている。</p> <p>こうした地域への積極的な働きかけにより、多くの地域住民が集う場、機会を提供しているさかえ会館は、地域のコミュニティセンターとして、大いに機能している。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市西砂会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:306日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 時給891円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。  給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。  多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:14,052名(前年度13,094名) 利用件数:745件(前年度707件) 平均施設使用率:33.7%(前年度30.9%)	A		
③運営企画	S評価・・・会館まつり、手打ちうどんづくり道場 A評価・・・広報発行、そうめん流し、利用者懇談会、まゆだま飾り、うどん作り大会、お茶作り教室	S×2 A×6		
④事業収支	収入:2,794,313円、支出:2,794,313円 * 指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A×2		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特になし	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を4回、役員会を7回開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	エレベーター修繕、冷温水機修繕、一階学習室壁面穴修繕、ガス湯沸器交換修繕、フェンス取替修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	-	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>西砂会館は、その立地条件から他地域の利用者は少ない反面、地元利用団体の作品等が常設的に展示されているなど、西砂地域に密着した会館として親しまれている。管理運営委員会も西砂の地域色を活かし、広報誌への歴史コラムの掲載や会館事業としての伝統食文化教室の開催などを通じて、地域の各種団体とも協力しながら西砂地域の文化の継承に重点的に取り組んでいる。</p> <p>とりわけ伝統食文化についての取り組みは、他館には見られない西砂の特色と言え、夏にはそうめん流し、正月にはまゆだま飾り、手打ちうどん作りをそれぞれ開催している。また、手打ちうどんについては、地元の小学校とも連携して、子どもたちにうどん作りを体験してもらう機会を提供している。こうした西砂ならではのコミュニティ事業を積極的に展開することが、地域の子どもやファミリー層の利用者を取り込むことにつながっている。</p> <p>また、会館を「地域の安全の拠点」とするため、利用者懇談会と防災訓練を同時に開催し、利用者団体と一緒に訓練に取り組んだり、館内に避難路の掲示を自主的に行うなど、事故や災害への備えについても重点的に取り組んでいる。</p> <p>このように、地域の利用者と一緒に、様々な取り組みを展開する西砂会館は、地域になくてはならない施設として、その重要性はますます高まっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市上砂会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:334日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 時給864円(参考値:月額支給額÷月労働時間)	A	基本的事項は、実施計画どおりに実施されている。  給与単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。  多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
②利用実績	利用者数:40,051名(前年度41,545名) 利用件数:2,651件(前年度2,461件) 平均施設利用率:49.4%(前年度48.6%)	A		
③運営企画	S評価・・・会館まつり、講演会 A評価・・・広報発行、クリスマスカード作り、利用者懇談会、新年会	S×2 A×4		
④事業収支	収入:2,792,267円、支出:2,796,267円 * 指定管理料2,792,162円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
⑤損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
⑥不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
⑦第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	-		
⑧新たな取り組みの状況	特になし	-		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	4ヶ月毎に開催される代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	管理運営委員会を10回開催し、業務点検を行っている。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内・外共に良好な状態で管理されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
③保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
④小規模修繕	ホール照明機器修繕、ガス漏れ検知器交換修繕、光電式煙感知器修繕	A		
⑤備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>上砂会館は、平成12年に開館した、学習等供用施設11館の中で最も新しい施設である。当館の特徴として、学習等供用施設で唯一の音楽室(防音設備完備)や広いホールを備えていることもあってか、地域外からの利用や有料団体による利用も比較的多く、利用料の収入は学供施設の中で最も多い(他10館平均の約3.5倍)上に、利用者数も年間延べ4万人を超え、11館中最多である。さらに、図書館(2階)・児童館(1階)・学童保育所(1階)・福祉事業所(1階)・一般住居(3階以上)との複合施設であり、また会館の出入口を図書館と共有していることから、会館利用者以外の来館者が会館窓口を訪れることも多い。こうした事情もあり、毎日多くの会館利用者・来館者を迎える上砂会館では、日頃から窓口での接客対応については意識的に取り組んでおり、窓口では会館利用者・来館者と丁寧にコミュニケーションをとるよう心がけている。</p> <p>また、地域にある団地住民を中心に地域活動への関心が強く、会館実施事業もこうした地域の各種団体から協力を受けながら、地域住民の誰もが参加しやすいよう企画している。とりわけ、毎年9月末に2日間にわたって開催される会館まつりでは、前夜祭として今年度はプロのシャンソン歌手によるステージや、会館利用者でもある国立音大生によるジャズビッグバンドの演奏が行われたほか、翌日の利用者団体による芸能発表では、他館と比較しても出演者数が非常に多く、限られた時間で一人でも多くの方が発表の場を持てるよう工夫されている。さらに館内には所狭しと利用者による作品が展示され、また児童館では子ども向けに無料の模擬店も催されるなど、子どもから大人まで、地域の誰もが集い楽しめる場となっている。</p> <p>このように、上砂会館は最も新しい会館ではあるものの、今日では年間延べ4万人が利用する生涯学習活動の場として、また同時に上砂地域のコミュニティセンターとして、多くの利用者、また地域住民に親しまれ、無くてはならない施設となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
柴崎市民体育館	公募	教育部 スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
シンコースポーツ・山武共同事業体	平成22年4月1日～平成27年3月31日(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書及び設置目的を十分に理解するために研修を行い、管理運営にあたった。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	公共施設であることを理解し、設置目的及び第3次スポーツ振興計画などの勉強会を行い理解度の向上を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	性別・年齢・国籍・障害の有無などの差別なくすべての利用者が公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	事業が安定的かつ継続的に遂行するため、職員の異動が伴う場合は、引継ぎを行い、また、そのための連絡体制を構築している。	A		
①基本的事項	開館日数: 346日 開館時間: 9:00～23:00 職員配置: 正社員・契約社員 13名 その他臨時職員 給与単価: 850円から1,250円 (臨時職員の単価 手当は別途支給)	A	基本的事項については、実施計画どおり実施されている。  給与単価については、法令等遵守されている。  開館時間、開館日の増、各種教室の開催等により、直営時より5割利用者が増えた。  提案事項のうち、1つ以外は着実に実施した。残りの【運動型健康増進施設の認定取得】については、実現に向けて取り組まれた。  24年度のメール誤送信を受けて、メール誤送信ソフトの導入を行った。	A
②利用状況	【利用者数】 305,502人(前年度309,732人) 前年度比99% 【団体利用】 120,795人(前年度127,124人) 前年度比95%	A		
③運営企画	S評価・・・自主事業 A評価・・・柔道整復師・医師・健康運動指導士等によるスポーツ医科学講座	S×1 A×3		
④事業収支 ⑤経営状況分析指標	収入: 207,481,513円、支出: 201,469,689円 事業収支: 6,011,824円 指定管理料139,078,258円 利用料金比率 24% 人件費比率 44% 利用者1人当たり管理コスト 659円 利用者1人当たり市負担コスト 455円	A		
⑥損害保険等加入状況 ⑦不可抗力発生時のリスク分担及び対応	対人対物 支払限度額: 1千万円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
⑧第三者への委託状況	機械警備、自家用電気工作物保管理、清掃業務、エレベータ設備保守点検、消防用設備保守点検、電話交換設備保守点検、放送設備等保守点検、ボイラー保守点検、プール水処理設備保守点検、プール殺菌装置保守管理など	A		
⑨新たな取り組みの状況	メール誤送信ソフトの導入 (自主事業)コース型の追加、クリスマスイベントの実施	A		
⑩提案の実施状況	S評価・・・物品販売 A評価・・・遠隔監視システム導入、建物管理業務のWEB化、プール監視システム「ポセイドン」設置、ボルダリング設置、新規トレーニングマシン変更、レンタルロッカー設置、自動販売機、スタジオ新設 B評価・・・運動型健康増進施設の認定取得	S×1 A×8 B×1		

評価の視点及び項目			2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	ユニホームを着用し、適切に実施した。	A	アンケート結果からしても、職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 アンケート結果では、全体的に満足度が非常に高く、利用者からの評価はとても良い。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	外部研修、社内研修等を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは月1回会議を開催し、連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	定期的に利用者アンケートを実施し、閲覧できるファイルを設置してある。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設のパンフレット、利用種目別チラシを作成している。ホームページは作成し、適宜情報を発信している。	A		
事業計画・報告書の公表	規定に従い、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システム等により、公平・公正利用に努めている。	A		
業務の点検	社内のPDCAサイクル表にて業務点検を実施している。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	適切に実施された。導入当初は、一部利用者から清掃業務について指摘があったが、そのような意見はなくなった。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき概ね適切に実施されている。 清掃時間の工夫などして、施設の清潔保持に努めた。 施設が大規模で修繕を要する箇所も多いが、適切に行われている。	A
②施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
③保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
④小規模修繕	プール男子トイレダクト交換、プール天井照明器具取替、トレーニングマシン修理、プールロボット修理、温水配管交換、券売機修理、プール水処理部品交換、ボイラー故障修理、プール可動式屋根センサー交換ほか	A		
⑤備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	おおむね適正に実施されたものの、一部職員の不注により、メール誤送信トラブルがあった。	B	利用者の個人情報そのものは適正に管理されているが、個人情報に準じる利用者のメールアドレスが初歩的なミスにより漏れたため、B評価とする。	B
個人情報等秘密の保持	同上	B		
適正な管理	同上	B		
再委託の禁止	主要な業務は共同事業体により実施し、第三者への委託は限定されている。	A		
研修・教育の実施	社内研修を実施した。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	2件の事故、2件の苦情等があったが適切に対応されている。ただし、6月には、教室応募返信メールを送信する際にBCCで送付すべきところ、TOで送付したため、他のお客様にアドレスが漏れてしまった。(B評価)	A×4 B×1	メールアドレスが他の利用者に漏れた件については、今後も細心の注意を払っていただきたい。	A
②事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハツとした事項は、毎日の朝礼・終礼などで対応策の確認を行っている。蓄積・共有することにより事故の未然防止・施設の安全に役立っている。			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	搬入業者によるテーブル搬入時に1FからB1幼児スペースにテーブル落下。幸いにして、利用者がいなかった。			
④事故防止対策の取り組み状況	安全マニュアルや日常の救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	季節にちなんだイベント等により地域に開かれた施設運営に取り組んだ。総合型地域スポーツクラブ及び立川市体育協会のスポーツ振興のため第2・4月曜日の優先利用促進を行っている。多摩川清掃ボランティアに参加。市民体育大会運営及び準備等に人的援助を行う。	A	近隣住民への配慮や、体育協会との連携が図られた。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
<b>(9)その他特記事項・追加評価項目</b>				
泉体育館リニューアルに伴う協議等	24年7月まで泉体育館の閉館期間による柴崎市民体育館の利用調整等をスポーツ振興課・体育協会・団体と行い概ね円滑に調整ができた。	A	協力的に対応した	A
<b>(10)立川市のコスト削減状況</b>				
導入前の決算額との比較	5,405,380円の削減。(平成20年度決算との比較) *平成21年度は施設改修工事があり、閉館したため	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
24年度は、泉市民体育館の再開(H24.7～)や日野市総合体育館開設(H24.3～)など、柴崎市民体育館にとって逆風となる条件が揃いつつも、自主事業のスタジオ教室のさらなる躍進もあって、結果として、23年度同等の利用者実績(直営時(21年度)と比べて50%の利用者増)となり、このことは運営面において指定管理者制度導入の大きな成果となった。施設管理面においては、ほとんどの管理項目で適正に遂行されているが、プール更衣室について利用者からの指摘が以前よりも多くなった。こまめな清掃など運用でカバーしている姿も見受けられるものの、指摘の多くが施設の老朽化に起因するもので、まとまった休館を取らないと対応できないものが多く、プールの利用者増がさらなる指摘を生んでしまう状況となってしまった(25年度のプール臨時休館時に各種修繕対応を予定している)。 ただし、利用者増という成果を挙げる一方で、個人メール誤送信トラブルもあった。幸い、メールの不正使用や誤送信者からの苦情もほとんど無く影響が軽微であったが、背景として、複数人によるチェックを怠るなど、個人情報を取り扱うことへの意識の希薄化が否定できなかったため、今後、同様の事態が発生しないよう、再発防止の研修やセキュリティソフトの導入をはじめとした数々の再発防止策を指定管理者は講じ、改めて個人情報保護の徹底と信頼回復に努めている。 以上を勘案し、一部の運営面におけるS評価や個人情報の取り扱いにおけるB評価が見受けられるものの、その後の対応は適正に行われており、また、多くの項目は仕様書・提案書どおりの水準であり、総合評価としてはA評価とした。		A	開館時間、開館日の増、各種教室の開催等により、対象(子ども、主婦、会社員など)を広げ、直営時より5割利用者が増えたことは評価できる。利用者アンケートの結果からも質の高いサービスが提供されている。メールの誤送信があったものの、運営、施設管理等については、仕様書等で定められた水準に達しており、A評価とした。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸図書館	公募	教育部 図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成22年6月1日～平成25年5月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を順守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数: 330日 開館時間: 10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(休日) 職員配置: 正社員及び契約社員 7人 うち、司書有資格者5人(71.4%) 契約社員給与単価: 時給 司書資格無 930円以上 司書資格有 950円以上	A	基本的事項については、実施計画どおり実施されている。  給与単価については、法令等遵守されている。  幸図書館の収支としては、59万ほど赤字になっているが、錦との2館合計では、収支のバランスがとれている。  提案事項も着実に実施した。	A
②利用状況	【利用者数】 34,364人(前年度34,677人 前年度比99.1%) 【貸出冊数】 131,853冊(前年度132,809冊 前年度比99.3%)	A		
③運営企画	一般向け行事(4回)、児童向け行事(7回)ほか	A		
④事業収支 ⑤経営状況分析指標	収入: 31,032,330円、支出: 31,619,800円 事業収支: -587,470円 人件費比率 77.5%	A		
⑥損害保険等加入状況 ⑦不可抗力発生時のリスク分担及び対応	対人対物 支払限度額: 1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
⑧第三者への委託状況	なし	-		
⑨新たな取り組みの状況	ホームページの充実、地域との連携行事、調べ学習支援事業の充実、予約・貸出利用の促進、児童の読書活動の推進、大活字本コーナーの設置	A		
⑩提案の実施状況	独自企画・運営による行事・館内イベント等の実施、学校図書館との連携の強化・調べる学習の支援、ボランティア・スキルアップ講座の開催、関係機関との連携、地元企業と連携した図書館グッズの作成、ホームページの運用、図書館だよりの発行、利用者意見の収集・分析・対応、利用者ニーズに合わせた配置、分かりやすい案内表示の作成	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	S評価・・・挨拶・応対等、電話・接客対応等、利用者アンケートの結果 A評価・・・服装・名札の着用、利用者の説明 一般的に良好であった。	S×3 A×2	利用者からも職員の評判は良い。 マニュアルにそって業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。 図書館独自のモニタリングにしたがい、業務点検ができています。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	専門的な研修やeラーニングなど、効果的な研修が本社・館内で実施された。	A		
所管部署との連携・連絡	調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	調査結果を要領よくまとめ、詳細な分析を加えた報告書が提出された。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自の図書館だよりを発行している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	独自のモニタリングにしたがい、業務点検ができています。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
③保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
④小規模修繕	評価対象外	—		
⑤備品管理	適切に管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が遵守された。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託している状況はない。	A		
研修・教育の実施	年1回の研修が義務付けられるなど、教育が徹底されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	特に無し。	—	特に大きな事故もなく、業務を行った。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
②事故の予兆に対する対応	特に無し。			
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特に無し。			
④事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、「幸図書館危機管理マニュアル」を作成している。	A		
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	地域の団体や学校、商店等との連携の中で、情報交換ができていいるほか、懇談会など様々な場を通して、意見・要望の把握に努めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んだ。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
<b>(9)その他特記事項・追加評価項目</b>				
	特に無し。			
<b>(10)立川市のコスト削減状況</b>				
導入前の決算額との比較	395千円の削減。(平成21年度人件費の比較)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
幸図書館の貸出冊数や利用者数は、23年度まで大幅な伸びを示してきたが、24年度はほぼ横ばいであった。このことは、指定管理者の努力不足ということではなく、前述のとおり、サービス向上等による増加が、23年度末までに一定のレベルに達していたことに加え、小規模館のため、新刊図書があまり購入できず、結果として蔵書構成に大きな変化を持たすことができなかつたことなどが要因ではないかと考える。 しかしながら、直営時との比較では、貸出冊数が26.0%、利用者数が21.4%アップしているほか、リクエスト数においては、24年度においてもさらに増加し、直営時との比較では57.0%アップとなった。 こうした数字を維持できているのは、開館日の拡大や開館時間の延長ということもあるが、24年度においては、接客対応のアンケート評価がさらに上がったこと、様々な工夫により各種のコーナーを設置したり、見出し板等を作成したりしたこと、地域の住民との協働による事業を展開し、地域に密着した図書館づくりに努めたこと、ホームページや図書館だよりにより情報提供に努めたことなど、常にサービス向上を図ってきた成果であると考えている。 また、スタッフの教育・研修についても充実した研修制度が構築されており、24年度も多くのスタッフが研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られるほか、個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、研修の実施、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。		A	アンケート結果で示すように接遇や様々なとりくみによりサービス向上に取り組んだ結果、24年度も安定したサービスの提供ができた。提案事項も着実に実施し、成果を得ている。以上のことから、評価基準に照らし合わせるためA評価とする。	A

## 立川市公の施設指定管理者評価シート(平成24年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
錦図書館	公募	教育部 図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成22年6月1日～平成25年5月31日(3年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み</b>				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を順守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
<b>(2) 業務の履行状況</b>				
①基本的事項	開館日数:330日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(休日) 職員配置:正社員及び契約社員 10人(3月末現在) うち、司書有資格者8人(80.0%) 契約社員給与単価: 時給 司書資格無 930円以上 司書資格有 950円以上	A	基本的事項については、実施計画どおり実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。 提案事項も着実に実施した。	A
②利用状況	【利用者数】 53,019人(前年度52,637人 前年度比100.7%) 【貸出冊数】 212,448冊(前年度205,111冊 前年度比103.6%)	A		
③運営企画	一般向け行事(5回)、児童向け行事(2回)	A		
④事業収支 ⑤経営状況分析指標	収入:24,398,330円、支出:23,810,860円 事業収支: +587,470円 人件費比率 75.2%	A		
⑥損害保険等加入状況 ⑦不可抗力発生時のリスク分担及び対応	対人対物 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
⑧第三者への委託状況	図書運搬リフト点検	A		
⑨新たな取り組みの状況	子どもたちの「調べ学習」支援事業の充実、地域の自治会との連携の推進、国立国語研究所との協働事業の実施、利用者の利便性向上(手荷物台の設置)	A		
⑩提案の実施状況	独自企画・運営による行事・館内イベント等の実施、学校図書館との連携の強化・調べる学習の支援、ボランティア・スキルアップ講座の開催、関係機関との連携、地元企業と連携した図書館グッズの作成、ホームページの運用、図書館だよりの発行、利用者意見の収集・分析・対応、利用者ニーズに合わせた配置、分かりやすい案内表示の作成	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<b>(3) サービスの質に関する事項</b>				
職員の対応	S評価・・・挨拶・対応等、電話・接客対応等、利用者アンケートの結果 A評価・・・服装・名札の着用、利用者の説明 全般的に良好であった。	S×2 A×3	利用者からも職員の 評判は良い。  マニュアルにそって業 務を実施している。  市と毎月、連絡調整会 議を行い、業務を遂行 している。  図書館独自のモニタリ ングにしたがい、業務 点検ができています。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	専門的な研修やeラーニングなど、効果的な研修が本社・館内で実施された。	A		
所管部署との連携・連絡	調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	調査結果を要領よくまとめ、詳細な分析を加えた報告書が提出された。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自の図書館だよりを発行している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	独自のモニタリングにしたがい、業務点検ができています。	A		
<b>(4) 施設・設備の維持管理状況</b>				
①清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備 保守(一部を除く)、修 繕は対象外である。  その他は適切に実施 されている。	A
②施設及び設備の保守・点検	図書運搬リフト保守点検済み。不具合を適切に修理した。	A		
③保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
④小規模修繕	評価対象外	—		
⑤備品管理	適切に管理している。	A		
<b>(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項</b>				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、 チェックリスト等に基づ き、個人情報遵守され た。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託している状況はない。	A		
研修・教育の実施	年1回の研修が義務付けられるなど、教育が徹底されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<b>(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項</b>				
①事故・苦情対応状況	CDのロック解除もれに対する苦情と館内での置き引きがあったが、その後の対応は適切に行った。	A	苦情に対する対応は、適正に行われた。今後も真摯に対応されたい。	A
②事故の予兆に対する対応	特になし		置き引きについては、注意喚起を促しているが、指定管理者として、さらなる徹底をされたい。	
③具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし			
④事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。置き引きがあったので、注意喚起及び巡回を強化した。	A	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	
<b>(7)地域貢献に関する事項</b>				
地域及び地域住民との連携	幅広い年齢層を対象に、多彩な行事を開催し、開かれた図書館づくりに取り組んだ。また、学習館や児童館とは従来から連携関係ができているが、自治会とも連携が始まった。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに取り組んだ。	A
<b>(8)コンプライアンスに関する事項</b>				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
<b>(9)その他特記事項・追加評価項目</b>				
	特に無し。			
<b>(10)立川市のコスト削減状況</b>				
導入前の決算額との比較	9,180千円の削減。(平成21年度人件費の比較)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<b>◆ 総合評価</b>				
<p>錦図書館の貸出冊数や利用者数は、23年度まで着実な伸びを示してきたが、24年度はほぼ横ばいであった。このことは、指定管理者の努力不足ということではなく、前述のとおり、サービス向上等による増加が、23年度末までに一定のレベルに達していたことによるものと考えられるが、館の規模等を考慮すると、直営時からの伸び率が12.7%に留まっている利用者数や、同じく14.9%のリクエスト数などは、増加の余地がまだ若干残されていると感じている。</p> <p>しかしながら、貸出冊数については、直営時との比較で20.4%の増加となっており、当初の目標の「10%以上」を大きく上回っているほか、幸図書館との比較においても、23年度までは貸出冊数の伸び率に約10ポイントの差があったが、24年度においては、約6ポイントまで縮まった。</p> <p>このように、一定の利用を確保できているのは、開館日の拡大や開館時間の延長ということもあるが、24年度においては、接客対応のアンケート評価がさらに上がったこと、利用者のニーズを捉えた各種コーナーを設置したこと、子どもたちの調べ学習の拠点として、様々な支援事業を展開したこと、ホームページや図書館だよりにより情報提供に努めたことなど、常にサービス向上を図ってきた成果であると考えている。</p> <p>また、スタッフの教育・研修についても充実した研修制度が構築されており、24年度も多くのスタッフが研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られるほか、個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、研修の実施、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。</p>		A	アンケート結果で示すように接遇や様々なとりくみによりサービス向上に取り組んだ結果、24年度も安定したサービスの提供が出来た。提案事項も着実に実施し、成果を得ている。以上のことから、評価基準に照らし合わせるとA評価とする。	A